

あなたは 「足で蹴らない」サッカーを 知っていますか？

電動車椅子サッカーの競技と魅力

スパイクの代わりに「バンパー」と呼ばれるガードを足元に取付けボールを蹴ります。
操作はコントローラーについている「ジョイスティック」を身体の一部(指、足、顎など)で操り、
直径32.5cmの大きなボールを使いサッカーを行います。

電動車椅子で魅せるプレーは想像を越えます！

国際的呼称は「Powerchair Football (パワーチェアフットボール)」と呼び、
世界で親しまれているスポーツです。W杯が開催されています。

コート：最大 30m × 18m (主にバスケットコートを利用)

試合人数：1チーム4名 (ゴールキーパー1名含む)

試合時間：20分ハーフ (10分ハーフタイム)



四角型バンパー



丸型バンパー



ジョイスティック



右が電動車椅子サッカーボール(7号球)
左が11人制サッカーボール(5号球)

電動車椅子サッカーの特徴

<2on1 (トゥーオンワン) ルール>

同一チームの競技者2名と相手競技者がボールの半径3m以内におり、
競技者2人目が次のようなプレーに関わっている場合に反則となります。

1. プレーに干渉する
2. その位置にいることによって利益を得る
3. 相手競技者に干渉する

※ゴールエリア内競技者1名がゴールキーパーの場合はこの反則は適用されません。

<最大時速6km/hと10km/h の違い>

国内大会では最大時速の設定が2つありそれぞれに見所や魅力が異なります。

最大時速6km/h→蹴ったボールに自分が追いつかない：先手を読み合う「緻密な戦術」サッカー

最大時速10km/h→蹴ったボールに自分が追いつく：運動量が多くフットサルに近い「ダイナミック」サッカー

